

製鉄現場における設備補修を手掛ける『光榮創建』。1994年に個人事業として創業し、2006年の法人化を経て今に至っている。現在は『山九』の直請けで仕事を行って安定した基盤を確立しており、同社の協力会社として表彰もされている。安全を第一に技術を磨き続けている同社を、本日はタレントの島崎俊郎氏が訪問。鈴木社長にインタビューを行った。



## 窮地を救ってくれた元請会社への感謝、共に働くスタッフへの思いを胸に歩み続ける

株式会社 光榮創建

千葉県君津市外箕輪 2-3-9

URL : <http://www.kouei-souken.co.jp>

代表取締役

鈴木 悟

TOP INTERVIEW

鈴木社長は、どういった経緯で独立されたのでしょうか。

父が重機のリースや土建業を手掛ける会社を営んでいて、そちらで勤めていました。その中で、自分でやってみようという思いが募り、当社を創業したんです。最初は父の会社に勤めながらの副業でしたが、やがてこちらに専念するようになりました。業容としては、製鉄現場における機械整備や、仕上げ・製缶工事、配管・溶接工事、プラント工事、土木建設工事、塗装工事など、作業内容は多岐にわたります。1994年創業なので、もう27年です。

長く続けてこられて、現在まで順調でしたか。

いえいえ。間に入っている会社から騙されてしまつて1千万円ほど失い、途方に暮れたこともありましたが（苦笑）。何とかスタッフの給料だけは払い、心配させないよう逆昇給をするなどしていたんです。そんな大変な状況の時に、助けて下さったのが『山九』さんでした。当時の副支店長さんが声をかけて下さり、私共の事情を汲んだ上で、直請けの協力会社としてお付き合いいただけることになったんです。

厳しい状況の中で、転機となる出会いがあったんですね。

はい。直請けで仕事ができるとあってスタッフのモチベーションも上がり、銀行さんの対応も変わってきました。そこから心機一転して社名を変更して法人化もし、再スタートを切ったんです。そこから数える約15年。これまで続けられたのは、『山九』さんのお陰だと本当に感謝しています。

「縁を掴むのも実力ですし、御社には期待に応えるだけの技術があったらというこ

## Guest Comment

「『山九』さんやスタッフの皆さんへの熱い思いを伺うことができました。ピンチの際に自暴自棄になることなく、スタッフさんのことを一番に考えておられたからこそ、良いご縁を引き寄せられたと思います。今後とも頑張ってください！」

島崎 俊郎  
(タレント)



とでもありますね。

スタッフたちが頑張ってくれたお陰です。私はスタッフ全員を本当の家族のように思っていますし、社長だからといって垣根を作りたくはありません。コロナ前はよく皆で食事に行ったり旅行に出掛けたりしていましたし、良い意味でフラットな関係を築けていると思っています。

そうした時間が、皆さんとの絆につながっているのでしょうか。

ええ。辞めても連絡をくれる人もいますし、一度辞めて戻ってきた人もいます。縁あって一緒に仕事をしてきた家族ですから、たとえ離れてしまつても皆私のことを「親父」と呼んでくれます。本当に嬉しいですね。

親父ですか、それは良いですね！周囲の方々の良い関係や、社長の人情に溢れるお人柄が窺えますよ。

これからの『山九』さんの期待に応えるため、また一緒に頑張ってくれる皆のために、会社を守り続けたいですね。確かな仕事をするため技術を磨き続けることはもちろん、周囲との関係を重んじた心の通った仕事を大切に歩んでいくつもりです。